

持続的成長に向けて技術開発の質的向上と加速に挑む



取締役 常務執行役員
塗料事業部門長

里 隆幸

本年も残り数か月で年が暮れようとしています。この間、政治・経済・社会・環境の各方面で、我が国にも少なからず影響を及ぼすような出来事が幾つか生じました。この内、6月1日に世界で二番目のCO₂排出国である米国がパリ協定を離脱するという声明は世界中に大きな衝撃が走りました。国際社会がパリ協定の発効を受けて、今まさに低炭素化に向けての取り組みを加速させようという時に出されたものであり、既に発生している気候変動の影響に苦しむ人々や次の世代にとっても、極めて遺憾なものであるとの見方が大方であろうと推察いたします。

この様ななかで、当社は「新しい価値の創造を通じて地球環境や資源を護り、広く社会の繁栄と豊かな暮らしの実現に貢献できる企業を目指します。」との経営理念に則り、持続的成長力も持つ企業を目指し、事業展開を図っております。

当社は前中期経営計画期間(2014～2016年度)において、さらなる収益力とグローバル展開力を持つ企業への成長を目指し、コスト競争力の強化や新たなビジネスモデルの構築に取り組んでまいりました。これらの取り組みを継続発展させ、競争の激化が増す経営環境に対処すべく、新中期経営計画(2017～2019年度)を策定し、以下の重点課題および施策、即ち、

①国際的なイベント開催に備えた国内インフラ市場における新設・メンテナンス需要の確実な取り込み、②重防食技術やインクジェット技術など、当社の強みを生かした新規市場開拓の推進、③高付加価値品の販売拡大、製品別に販売戦略の見直しおよび、生産体制の適正化による国内塗料事業のさらなる強化、④強みをもつ分野や地域への集中・特化、および重防食塗料の継続的海外展開による海外塗料事業の継続的・積極的拡大を設定いたしました。

上記課題の解決のためには新技術や新商品の整備が不可欠であり、これまで以上に研究開発の質的水準を高め、加速させてまいります。これにより、当社独自の強みをさらに洗練・発展させることで、将来性のある企業であり続けるべく努めてまいります。

読者の皆様には何卒一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。